漁民と手をつなぐ広報誌

すいさん山形

山形県
漁業協同組合
広報誌

11
2018
No.343

海の男のソフトバレーボール大会開催!

11月2日㈮、 山形県沿岸青年漁友会主催でソフトバレーボール大会が旧由良小学校体育館にて開催され、 総勢25名、5チームでの総当たり戦が行われました。 普段から漁業で培われた足腰の強さとチームワークで見どころ満載の接戦を繰り広げ、 見事優勝を勝ち取ったのは鼠ヶ関Aチームの皆さんでした。

その後は、旅館仁三郎（鶴岡市三瀬）に会場を移し、鶴岡、鼠ヶ関地区の若い漁業者同士が交流を深め合いました。

県産ズワイガニのブランド化に向けて

選別講習の様子

庄内浜産水産物のブランド化推進を目的とした「庄内浜ブランド創出協議会」において、サワラ、トラフグに次ぐ第3の部会としてズワイガニ部会が10月2日に立ち上がりました。

山形県では、毎年10月から底曳き網によるズワイガニ漁が解禁され、本場である北陸や山陰よりも1ヵ月ほど解禁が早いという優位性があります。しかし、先進地と比べると出荷されるカニの規格等にばらつきがあることや、地場での認知度が低いことが課題です。ズワイガニ部会は、これらの課題を解決して、庄内浜産ズワイガニの価格向上と地場での利用拡大をめざしています。

その第一歩として、10月23日には底曳網漁業者や市場・流通関係者などを対象とした選別学習会が由良総括支所を会場に開催されました。学習会では、「越前ガニ」で有名な福井県から、越前町漁業協同組合の小林副組合長、清水販売課第二課長、福井県農林水産部水産課の前田主任をお招きし、由良で水揚げされたズワイガニを使った選別方法をご教示いただきました。越前町漁協では、越前ガニのブランドを守るため、我々の想定を超えた手間暇をかけてサイズや品質による選別を行っており、参考にすべき点が多く、参加した関係者も熱心に質問していました。

この学習会を皮切りに、今後は、選別基準の確立や品質向上対策を進め、地元消費拡大に向けたPRなどを実施し、県産ズワイガニのブランド化を進めていきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いします。

山形県庄内総合支庁産業経済部
水産振興課 技師 **槇 宗一郎**

真剣に講演に耳を傾ける参加者たち

酒田海上保安部長表彰

左から、相澤部長、酒田救難所救助長長谷川保正さん、加茂救難所副所長佐藤東一さん、加茂救難所救助員佐藤 敦さん、荒賀交通次長

11月9日㈮、酒田海上保安部より海難救助功績に対する表彰が執り行われました。1件目は、酒田救難所の長谷川救助長です。平成30年9月17日、酒田市酒田港袖岡船溜りにおいて、釣りをしながら岸壁を歩いていた人が、誤って足を踏み外し海中転落しました。転落者は着用していた膨張式救命胴衣を膨らませ、流されないよう岸壁につかまりながら、救命胴衣に装備されていた笛を吹鳴したところ、現場対岸にいた釣り人がこれに気付き118番通報しました。

通報を受け、現場へ急行した酒田海上保安部職員が転落者を発見したものの、岸壁上への引き上げが困難であったことから、現場付近の漁船清丸（酒田救難所）に救助を要請、清丸は現場に向かい海中転落者を船内に引揚げ、直ちに救助しました。

2件目は、加茂救難所の佐藤副所長と佐藤救助員です。平成30年9月23日、プレジャーボート（2名乗組み）が、鶴岡市加茂港沖合で釣りをしていた際、船首付近に乗船していた1名が船上で立ち上がった状態で釣りを行ったところ、右舷後方からのうねりを受けたことにより海中へ転落、これと同時に船尾付近にいた同船船長も海中転落したうえ、プレジャーボートが転覆しました。

この状況を目撃した釣り人が118番通報し、酒田海上保安部から要請を受けた加茂救難所の漁船第八長保丸が直ちに現場へ向け出港、海難発生場所付近で漂流していた海中転落者2名を発見し、船内に引揚げ救助しました。

これから、時化が多い時期に突入します。当組合員のライフジャケットの常時着用は定着しつつありますが、過信は厳禁です。日々の海難事故防止を心がけましょう。

第５回 食と漁の地域活性化シンポジウム

地域漁業の発展と魚食文化の育成を目的に、(一社)東京水産振興会が地元団体との共催により全国各地で開催している「食と漁の地域活性化シンポジウム」が、10月20日㈯に山形県で初めて開催されました。

当日は、加茂水産高校体育館を会場に、漁業者、水産関係者、行政など約130名が参加しました。第１部のシンポジウムでは東京海洋大学の馬場治教授の講演に続き、トークセッションでは、山形県漁協直営「庄内海丸」と県内流通促進、生産者が挑む船上活〆神経抜きサワラの出荷戦略、庄内浜文化伝道師が拓く食、やまがた庄内浜の魚応援店と消費拡大について、それぞれの活動が発表されました。続いて、「山形・庄内の魚の魅力発信と地域未来づくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

第２部の交流会では、加茂水族館の「沖海月」に会場を移し、須田料理長による庄内おばこサワラやトラフグの捌きの実演が披露され、美しく盛られたサワラやトラフグの料理を囲み参加者の交流が図られました。

山形県水産試験場「おいしい魚加工支援ラボ」が竣工しました!!

県産魚介類のブランド化や付加価値向上を推進・支援するための施設として、水産試験場「おいしい魚加工支援ラボ」が完成し、10月21日に竣工式が行われました。当日は、晴天に恵まれ、吉村美栄子山形県知事、本間昭志山形県漁業協同組合代表理事組合長ら水産関係者、地元自治体代表らが参列し、テープカットが行われ、施設の竣工を祝いました。

山形県水産試験場 資源利用部 専門研究員　**平野　央**

【施設の概要】

本施設は水産試験場の敷地内に本館と隣接して建設され、鉄骨2階建てで延床面積は260㎡です。１階の調理・試作室は、厨房・調理設備、低温乾燥庫、急速冷凍装置、スチームコンベクションオーブン、冷凍・冷蔵庫などを備えており、県内の漁業者や水産・教育に携わる皆様の水産加工品の試作にご利用いただけます。また、１階の分析室は、庄内浜産魚介類の鮮度やおいしさの分析を行う機器が設置されており、水産試験場の職員が、魚介類のアミノ酸、脂肪、鮮度、水分等の測定を行います。

2階は、研修室となっており、収容人数は46名です。

【ご利用日及び時間】

原則として、平日の午前9時から午後4時までです。

【施設の利用申し込み】

利用に当たっては、あらかじめ電話等により、資源利用部（電話0235-33-4382）まで利用日時、利用設備等をご連絡の上、使用申請書を提出してください。ご不明な点などありましたら、資源利用部までお気軽にご相談ください。

この施設は、本県においては水産分野では初めてのオープンラボです。水産加工品の試作や研修など、庄内浜産水産物の消費拡大や付加価値向上に向けて、皆様から大いにご活用して頂くようお願いいたします。

1000隻以上の違法操業船にやむなく撤退！「これでは漁が出来ない！」

違法外国漁船急増を受け水産庁へ要望書を提出

日本海大和堆周辺水域における北朝鮮の違法操業問題が深刻化しています。連日マスコミでも取り上げられていますが、昨年まで大半を占めていた木造船から今年は鋼船が急増しています。さらに、物を投げつける等悪質化しており、日本船のすぐ近くで違法操業を行うため接触の危険から回避せざるをえない現状です。違法操業が横行していることを問題視し、山形県漁協は、10月30日に県庁駒林農林水産部長・丸山酒田市長に窮状を訴え、山形県行政と共に11月２日㈮長谷水産庁長官へ『水産庁漁業取締船、海上保安庁巡視艇及び航空機による取締りを強化し、我が国の排他的経済水域（EEZ）で違法操業を繰り返す北朝鮮船を速やかに排除すること』を記し、要望書を提出しました。

産地市場改革への第一歩！

タブレットを導入しました!

全国的にICT（情報通信技術）の活用が進み、情報の収集や分析、情報の共有により多方面での効率化が期待されている昨今ですが、我が山形県漁協も８月下旬に行った基幹システムの入替に伴い、入札・競売にタブレット端末を導入しました。

これまで専用用紙に手書きしていた作業を、直接データを機械に入力・取込みすることで、仕切書や請求明細書などの帳票のスピーディな発行と誤記の防止、職員の作業時間の短縮を目指しております。

まだ不慣れな点もございましてご迷惑をかけることもあると思いますが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

またシステムの入替に関連し、帳票が全て白色のコピー用紙に変更されたことで見づらい等のご意見をいただいております。これにつきましては『精算書』のみをカラー用紙（ライトグリーン）に印刷する対応をしたいと思います。他にもお気付きの点がございましたら、お気軽に漁協職員までお声がけください。

理事会情報

平成30年度　第５回　理事会議案
開催日：平成30年10月16日㈫
場所：本所 第一会議室

【協議事項】

1 平成30年度上半期収支状況について
2 農林中央金庫の資本対策について
3 債権の管理回収について（第２回債権管理委員会の協議を踏まえて）
4 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
5 貸付金の審議について
6 うぐい・こい・ふな刺網漁業の承認について
7 冬期終業時間の一部変更について
8 由良水産加工場の冷凍機の更新について
9 第25回参議院議員通常選挙候補者の推薦について

【報告事項】

1 平成31年度水産業に関する要望書について
2 ２０１８年度（第33回）漁業運動功労者表彰及び鶴岡市市制功労者並びに酒田市民表彰について
3 「JFマリンバンク基本方針」に基づく「早期指導実施要領」に定める早期指導先の選定について
4 平成30年９月末貸付金の状況について
5 平成30年９月末資金運用状況について
6 平成30年９月末余裕金の運用状況について
7 信用・経済事業貸倒債権等の回収状況について
8 平成30年度指導事業賦課金徴収実績について
9 平成30年度栽培漁業実施結果について
10 平成30年度第２四半期における販売促進活動について
11 平成30年度第２四半期の「庄内海丸」の収支について
12 平成31年度新規採用職員の内定について
13 第３回コンプライアンス推進委員会の開催について
14 平成30年度内部監査結果について
15 組合員の加入・脱退について
16 その他

おまつりアラカルト

10/27(土)-28(日) 酒田市農林水産まつり2018 ～酒田んめちゃ市～

酒田市国体記念体育館特設会場で行われた農林水産まつりに、県漁協女性部と県漁協販売企画課がそれぞれ出店しました。女性部は「特製いか焼きそば2色盛り」と「ほたて焼き」の販売、販売企画課はいかのまち酒田の港で水揚げされた「船凍いか」と今話題のチューブ入り「酒田市飛島産シャキとろギバサ」の販売を行いました。横殴りの雨の中にもかかわらず「このいかがんめなやの～」と食通のお客様が大勢立ち寄ってくれました。

10/6(土) 第３回庄内浜魚まつりin山形

山形市霞城セントラルにて「知る」、「味わう」をコンセプトに庄内浜魚まつりが行われました。県漁協は産直カー「海丸」での鮮魚販売や職員によるイカやタコ唐揚げ等の「浜焼き」販売を行いました。会場で行われたお魚クイズ大会の後には豊浦支所所属の鈴木重作氏が提供してくれたおばこサワラを参加者中心に振る舞い、大好評でした。

10/27(土) とれたてお魚市！カニまつり

10月1日のズワイガニ漁の解禁を受け、鶴岡市鼠ヶ関港では水揚げされたばかりの新鮮なカニを揃えた「カニまつり」が開催され、今年も多くのお客様で賑わいました。中でも毎年大好評のカニ汁には長蛇の列ができ、準備していた800食は完売し、とれたてのカニの美味しさに、皆さん舌鼓を打っていました。

10/13(土)-14(日) つるおか大産業まつり2018

つるおか大産業まつりは二日間とも天候に恵まれ、会場の鶴岡市小真木原公園はたくさんの人出でにぎわいました。新鮮な農林水産物や加工品が出展される中、県漁協では揚げたてのいかフライやえびの唐揚げを出店しました。フライにしてもやわらかいいかの美味しさにお客様は大満足の笑顔でした。

第38回全国豊かな海づくり大会

去る、10月27～28日「森・川・海　かがやく未来へ水の旅」を大会テーマに、明治150年記念　第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～が高知県で開催されました。

天皇皇后両陛下御臨席のもと高知市文化プラザかるぽーとで式典行事が開催され、「水産関係者には、「豊かな海」という財産を将来に引き継ぐとともに、国民に対し水産食料を安定的に供給するという重要な責務がある。水産資源の維持・管理と環境・生態系の保全の重要性を認識し、力強く取り組んでいくこと」を決議されました。

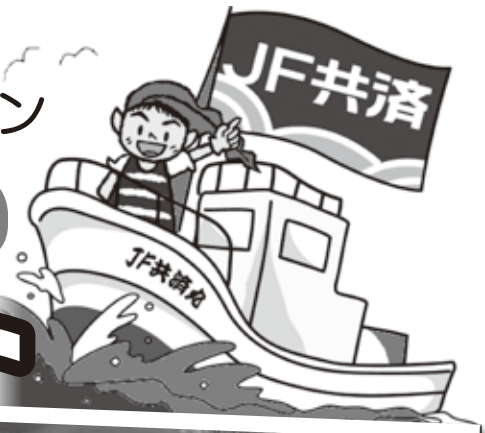
午後からは、会場を土佐市　土佐しおかぜ公園に移し海上歓迎・放流行事が行われました。地元漁業者が漁法を紹介しながら招待者を出迎え御放流魚のイサキ・イシダイを天皇皇后両陛下の御放流に合わせ、来賓と招待者も放流されました。

天皇皇后両陛下にとって全国植樹祭・国民体育大会・海づくり大会の出席やそれに合わせた地方視察は「三大行幸啓」と呼ばれ毎年取り組んできた重要公務でしたが、来年4月にご退位が決まっており在位中の行幸啓はこれで全て終了しました。

なお、来年度の第39回全国豊かな海づくり大会は、秋田県で開催されることが決定しています。

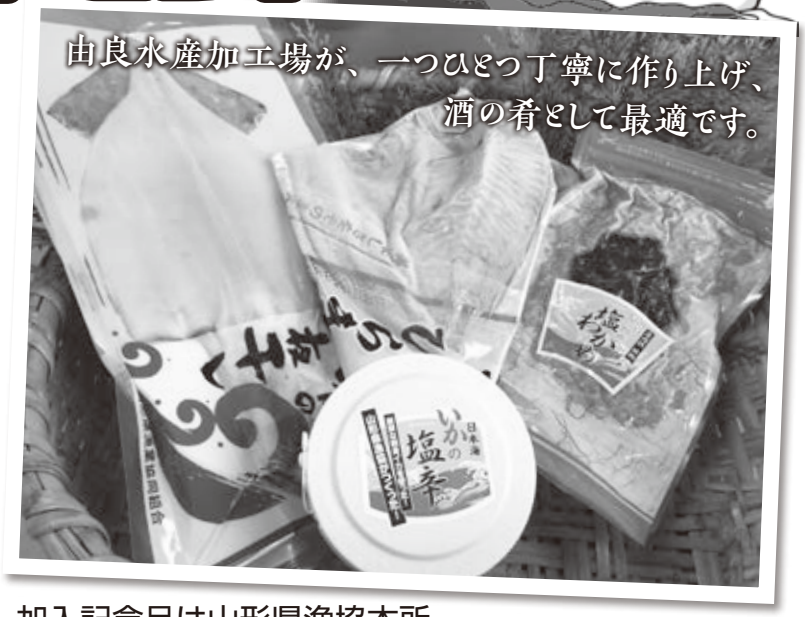
チョコー（普通厚生共済）

平成30年度 制度改正キャンペーン



山形県漁協

庄内浜海の幸セットプレゼント!



期 間

平成30年7月1日から
翌年2月28日まで

対 象

期間中、チョコー(生命共済)加入者に

「庄内浜海の幸セット」を進呈!

※ 対象要件があります。写真はイメージです。

対象要件とは……新規・満期更新・転換契約にて、病気死亡保障500万円以上もしくは、医療共済保障（入院保障特約）が付帯されているものが対象です。

加入記念品は山形県漁協本所
各支所・各出張所を通じてお渡しさせて頂きます。

【お問い合わせ先】
山形県漁業協同組合本所・各支所・各出張所または、ＪＦ共水連東北事業本部山形支店（☎0234-22-0021）までお願いします。

そろそろ軽トラックを買いたいけどどうしたら?

急に船の修理費が大きくかかってしまったので、支払の資金を調達したい

そんなときは山形県漁業協同組合に

ご相談ください!

エンジンのオーバーホールもそろそろ限界??
若いうちに換装しないとなぁ

お問い合わせは各支所・信用共済課まで

水揚情報

平成30年10月31日現在　（単位：千円）

区分＼支所別		水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
9月末迄水揚累計		1,342,943	44,144	47,444	717,635	89,782	118,719	79,113	23,141	222,965
月間水揚	県内船水揚	295,391	9,591	3,217	145,108	13,096	32,013	20,442	5,425	66,499
	県外船水揚	106,955	0	0	106,955	0	0	0	0	0
	合計	**402,346**	**9,591**	**3,217**	**252,063**	**13,096**	**32,013**	**20,442**	**5,425**	**66,499**
前年同月水揚		514,167	14,901	3,954	315,440	16,866	49,014	28,769	4,931	80,292
本年度水揚	県内船水揚	1,229,661	53,735	50,661	493,654	102,878	148,925	99,555	28,566	251,687
	県外船水揚	515,628	0	0	476,044	0	1,807	0	0	37,777
	合計	**1,745,289**	**53,735**	**50,661**	**969,698**	**102,878**	**150,732**	**99,555**	**28,566**	**289,464**
前年度水揚累計		1,897,670	66,350	72,920	1,029,713	103,250	170,625	124,232	33,568	297,012
増減		−152,381	−12,615	−22,259	−60,015	−372	−19,893	−24,677	−5,002	−7,548
本年度水揚計画		2,940,000	110,000	100,000	1,393,000	146,000	337,000	203,000	63,000	588,000
達成率		59.3%	48.8%	50.6%	69.6%	70.4%	44.7%	49.0%	45.3%	49.2%

今あがっている魚

ー 10月のベストテン ー

前年対比　増↗ 減↘ 変らず →

水揚金額（千円）				漁獲量（kg）			
1	するめいか	215,789	↘	1	するめいか	369,394	↘
2	ずわいがに	23,869	↘	2	べにずわい	43,140	↘
3	たい	23,837	↗	3	たら	39,657	↘
4	はたはた	21,047	↘	4	たい	38,034	↗
5	さわら	14,874	↗	5	はたはた	32,234	↘
6	ほっこくあかえび	14,804	↘	6	さけ	22,837	↘
7	たら	13,610	↘	7	ほっこくあかえび	13,424	↗
8	さけ	11,909	↘	8	さわら	12,436	↗
9	女かに	8,175	↘	9	めばる類	8,239	↗
10	べにずわい	6,040	↘	10	さざえ	8,096	↘

月間MVP

月間MVP

編集後記

◆11月は別名霜月と呼ばれ、文字どおり寒さを感じる季節となり、早いもので今年も1ヶ月余りとなりました。今年は、大阪府北部を震源とする地震や北海道胆振東部地震、7月豪雨や台風による自然災害が発生し、又、山形県においても8月の大雨により多くの方が被災されました。被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げるとともに、災害のリスクを正しく認識し、万が一に備え、普段からの準備が大切であるということを改めて認識いたしました。

◆大和堆周辺には、今年も北朝鮮籍とみられる多数の違法操業船が押し寄せ、日本の漁船の漁を妨害しております。又、投石による被害を受けた漁船もあるということから、国の取り締まり強化により、一日も早く安全操業できる日が戻ることを願ってやみません。

◆先ほども申し上げたとおり、今年も一カ月余り。年を重ねるごとに一年一年が早く感じ、振り返る間もなく一年が過ぎ去ろうとしております。だからこそ、その日一日を大切に過ごしたいと身に染みて感じております…。

◆「すいさん山形」は組合員皆様方と様々な情報や話題を共有し、愛される広報誌作りを心掛けております。今後もご意見・情報等ご提供くださいますようお願いいたします。

山形県漁業信用基金協会　係長　**芝田　秀樹**

おめでとうございます!

2018年度（第33回）漁協運動功労者表彰及び鶴岡市市制功労表彰並びに酒田市市民表彰

2018年度（第33回）漁協運動功労者表彰

伊　原　光　臣氏

（山形県漁業協同組合理事）

平成８年から漁業に従事され、近海漁業の振興と発展に尽力されました。平成19年から23年まで山形県青壮年部連絡協議会会長、平成23年６月からは山形県漁業協同組合理事、平成24年からは山形海区漁業調整委員会委員、平成26年からは日本漁船保険組合山形県支所運営委員長の要職を務め、資源管理型漁業並びに栽培漁業の定着・強化を進め、本県水産業の振興に大きく貢献されました。

去る11月22日に、東京都　如水会館で表彰式が行われました。

平成30年度鶴岡市市制功労表彰（災害防護功労）

本　間　昭　志氏

（山形県漁業協同組合代表理事組合長）

昭和52年１月に鶴岡市水難救助員の委嘱を受け、平成30年３月まで永きにわたり水難救助業務に精励されました。その間、平成20年４月からは豊浦救難所所長、また、平成27年４月からは鶴岡市救難本部長として、救難活動の推進と海難防止に尽力され、住民生活の安定に寄与されました。

去る10月１日に、東京第一ホテル鶴岡で開催された鶴岡市市制功労記念式典において表彰されております。

平成30年度酒田市市民表彰（漁業振興）

本　間　　健氏

（前全国中型いか釣漁撈長連絡協議会長）

平成17年５月より平成25年４月まで、永きにわたり山形県船友漁撈長会の船団長を務め、山形船団を全国有数の船団に押し上げました。また、平成20年４月から平成26年３月まで、全国中型いか釣漁撈長連絡協議会会長として、操業海域での船団間の取決めや乗組員の待遇改善、業界全体の地位向上に貢献されました。

去る11月６日に、ベルナール酒田にて表彰式が行われました。

豪快

鼠ヶ関底曳船頭衆出前教室 in 米沢市立松川小学校

やって来ました、上杉鷹山公のお膝元 米沢市。

庄内浜で獲れる魚について学んでもらうため、漁業者が自ら講師となり、出前講座を行いました。子供達に「見る・触れる・食べる」を体験させ、庄内浜の魚を知って貰う事を目的とし、今回が3回目の開催となりました。

この日は、松川小学校５年生53人を対象に、念珠関発動機船主会のメンバー14人が底曳網漁で獲った約50種類の魚を用意しました。初めは珍しい魚に“おっかなびっくり”と触る事も出来ない様子でしたが、“好奇心旺盛な子供がひとり、またひとり”と、しだいに慣れてきて「サメ・タコ・カニ」など、人気のある魚には“臭いくさい”と言いながら、いつの間にか触る順番待ちの列も！

“さばきは「ハタハタの湯揚げ」に挑戦”

船頭達も子供達にやさしく手ほどき、強面もいつのまにか“にっこにこ”、最後にさばいた「ハタハタ」の湯揚げや「紅エビ・ガサエビ」８箱を使った「超濃厚」エビ汁と茹でたてのタコ刺を食べ、“旨い美味い”連発の食事会となりました。

今回は米沢市長のサプライズ訪問もあり、関心の高さが伺えました。

鼠ヶ関底曳船頭衆の皆さんありがとうございました。

庄内総合支庁水産振興課 地域産業活性化コーディネーター　**佐藤　剛**

山形県漁業協同組合広報誌　すいさん山形
平成30年11月号　第343号
編集・発行／山形県漁業協同組合　酒田市船場町二丁目２番１号代表理事組合長　本間　昭志
☎ 0234－24－5611　FAX 0234－22－6455　http://www.kengyokyo.or.jp/